

令和7年度上大久保中学校だより

上中だより

第10号

令和8年2月2日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 Tel.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「頑張れ受験生!!」「人権朝礼から」 校長 高久 正行

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」という言葉があります。これは、正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを、調子よくいったものと言われていますが、あっという間に2月になったように感じています。例年以上の豪雪の状況が伝えられる中、2月4日の立春で、暦の上では春を迎えます。徐々に日が長くなっていくことを通して、一步一步近づく春の息吹を感じていきたいものです。

2月6日から、「第25回オリンピック冬季競技大会(ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック)」がイタリア北部の都市ミラノとコルティナ・ダンペツツォで開催されます。各メディアでも日本の注目選手の特集を行なうなど、盛り上がりを見せてきています。短い冬のシーズンに備え、夏場から地道なトレーニングを行っている選手たちが繰り広げる高難度の技術を見るのもとても樂しみです。同じように、3年生も1月の私立高校や特別支援学校の入試を終え、今月末の県公立高校入試を控えています。これまで積み重ねてきた地道な努力の成果を發揮する時です。これまでの自分の努力を信じ、自信をもって入試に臨んできてくれることを願っています。

さて、1月28日(水)に人権朝礼を実施しました。今回の内容は、昨年戦後80年を迎えたことを踏まえ、「さいたまの戦争」をテーマに、さいたま市立博物館の学芸員の方にお話をいただきました。さいたま市並びに埼玉県内の状況、当時の子どもたちの様子等、当時の資料を示していただきながら、戦争によって人々の人権が損なわれていた事実を通し、生命の尊厳や基本的人権の大切さを生徒のみなさんに考えてもらう機会になりました。この冬、「ペリリュー 楽園のゲルニカ」という映画が公開されました。この映画は、第46回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞した漫画をアニメーション化したものです。登場人物をかわいらしく表現しながらも、戦争が日常であるという狂気を圧倒的なアリティで描き、若者たちが極限世界で壮絶に戦い、懸命に生きた史実に基づいた友情物語となっています。この映画を通して、太平洋戦争末期にパラオ・ペリリュー島で起こった現実を知るとともに、戦地に赴いた若者たちの無念さや家族への思い、そして1万の日本軍のうち最後まで生き残った34人という中で最後までなんとか生きようとした主人公の姿を通して、改めて戦争のない社会を築いていく必要性を強く感じました。世界に目を向ければ、まだ戦争や紛争が続き、そこに住む人々の人権は踏みにじられている現状があります。これからを生きる人たちは、世界的視野をもって、人権や平和の意義を考えるべきとも思っています。

インフルエンザ等の感染症の広まりが減少していない状況がまだ見られます。うがい、手洗い等の感染予防策を励行していきながら、教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



R9新制服のエンブレムが完成しました!!

コンテストの結果、最優秀賞に選ばれた作品を業者で加工し、この度、新制服の左胸に貼り付けるエンブレムが完成しました！このデザインのポイントは、「上中の頭文字 K を中心にして、希望の象徴の羽をデザインし、桜の花であるサクラソウをピンク色で入れ明るいイメージにした」とのことです。

美術部による「階段アート」(PART II)!!



「階段アート」4作品が無事完成しました！

今年も花粉観測機を設置しました!!



さいたま市健康科学センターのご協力のもと、本年度も「花粉観測機ポールンロボ」を校内に設置しました。本校ホームページにウェザーニュースのサイトに入れるリンクを掲載していますので、今後の花粉症対策にご活用ください。